

増上寺越しに東京タワーを見てバラ咲く日比谷公園へ

日時:2017年5月21日(日) 天候:快晴 16000歩 約12Km

集合:JR浜松町駅北改札口 10時

コース:浜松町駅→増上寺→東京タワー→虎ノ門ヒルズ→赤坂日枝神社→国会議事堂→日比谷公園→有楽町駅

参加者:栗田(L) 市村(SL) 中村ゆ(SL) 班長=平林 志村 山本

勅使河原 平嶋 神谷 平石 高橋文 小野里 佐藤繁 新谷 渡辺リ 小島 落合 山川 桑原 大島 桑名 木村
加納喜 奥村 加納富 長廣 鈴木ま 赤須 松田 大島真/一般=秋森 計31名

暑いはずですが、この日の東京は30.9度で初の真夏日。そのような中、わがKWCは一人の落伍者もなく最後まで完歩出来ました！今回のコースは緑が多いものの、都心部のウォークでもありコンクリートからの反射熱も加わって、オープンの中のような状態も、湿度がそう高くないのが救いです。まだ5月だと云うのに、これでは夏本番はどうなるのか今から思いやられます。最初のポイントは、駅から真っ直ぐ伸びる道路の突き当りにある芝増上寺。一带は芝公園となっており、都内でも緑が多いエリアの一つです。その中には都内最大の前方後円墳があり、その頂きには伊能忠敬が日本列島測量の旅に出た記念碑が建っていました。ただ古墳自体の雰囲気はあるものの、周辺整備等で多くは削られてしまっています。公園を抜けると、皆さんには懐かしい東京タワーの真下に。スカイツリーが出来た今も、東京タワーは“永遠に不滅”です！昼食は都道2号線のトンネルが下を通る虎ノ門ヒルズで。幸いにも涼しいテラス席が空いていて、何組かはそこで食べる事が出来ました。日枝神社のエスカレーターで足を休ませ(?),国会議事堂迄来ると周辺は物々しい警戒で、警察車両が列をなしていました。最終地点の日比谷公園では、大音響のイベントが開催中で、縁のない我々はバラを片目で眺めつつ出口に向かいましたが、今日の“耐暑訓練”は、必ずや真夏のウォークでその真価を発揮されることでしょう！ <フォトレポート 小島>



芝公園内で東京タワーをバックに。上下からの熱気に、皆さんの表情もタワーもお疲れ気味で・・・



JR浜松町駅北口。平日なら通勤客の邪魔になる場所ですが、休日なので人通りも少なく助かりました！
この駅は、今も伊豆七島航路の発着となる竹芝棧橋への下車駅で、その昔は観光客でかなり賑わったものです。



駅前から伸びるこの道は、増上寺に突き当たります。
こちら側からは東京タワーへのバスも発着します。



増上寺の大門。一時は東京都（市）との所有権問題があったが、東日本大震災での修復を機に増上寺のものに。



正面に増上寺の三解脱門が見えてきましたが、残念ながら入り口が一部工事中でした。



振り返って大門を見ると、海に向かって下っているのが分かりますが、門の中を道が通る珍しいケースです。

★増上寺は、明徳四年(1393年)、浄土宗第八祖西誉聖聰(ゆうよししょうそう)上人によって開かれた。場所は武蔵国豊島郷貝塚、現在の千代田区平河町から麴町にかけての土地と伝えられている。室町時代の開山から戦国時代にかけて、増上寺は浄土宗の東国の要として発展していった。安土桃山時代、徳川家康公が関東の地を治めるようになってまもなく、徳川家の菩提寺として増上寺が選ばれた(天正十八年、1590年)。慶長三年(1598年)には、現在の芝の地に移転。江戸幕府の成立後には、家康公の手厚い保護もあり寺運は大隆盛へと向かった。(HPより)



増上寺前の公園広場で高橋文さんによるストレッチ。



今日は特に気合が入っています！（いつも？）



本日のリーダー栗田さん。地図で中村S.Lの顔を隠しながらのコース説明！（単にアングルの関係です）



朝一は皆さんしっかりと説明に耳を傾けていますね。でも時間の経過と共に段々と耳に入らなくなるようで・・・



増上寺に入り、こちらが本殿。



カラフルな千躰子育地藏菩薩。



どれも表情がユニークです！



平石さんから増上寺の説明がありました。



こちらは徳川家霊廟。中には入れません。



デートで上った！夜景が綺麗だった！そしてフラれた(?)・・・それぞれの思い出を秘めた懐かしの東京タワー。



園内の高台には伊能忠敬の記念碑があります。
すぐ傍には大野伴睦石碑があったようですが・・・



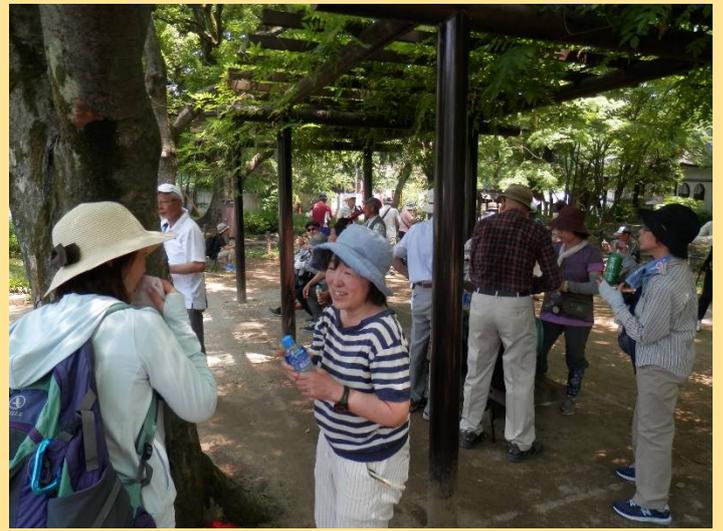
ここは芝丸山古墳で都内最大級の前方後円墳。
江戸時代には、すでに後円部が崩されていたようです。



園内の南側には花壇があり、バラをはじめ季節の花々が咲いていました。



弁天池の畔にきました。水辺は一服の清涼剤に。



ここまで来てリーダーも一息ついたようです。



ここからは一般の人と共に目指すは・・・



真下から見上げるとこの迫力！



芝公園を出ると容赦ない真夏の日差しが。



「青松禅寺」ご当人は只今休養中！？



裏階段から愛宕神社へ。



愛宕山と云えば NHK 放送博物館。



朱塗りの愛宕神社の門。ハデ！



愛宕神社正面「出世の石段」を下る皆さん。急な上に幅が狭く滑りやすいのでここは慎重に！やれやれ・・・

★「出世の石段」

愛宕神社正面の石段（男坂）は別名「出世の石段」と呼ばれ、その由来は講談で有名な「寛永三馬術」の一人、曲垣平九郎の故事にちなむ。三代将軍家光公から山頂の梅を取って来るよう命じられたものの、目の前の急こう配な石段を見て誰一人名乗り出るのがいない中、一人の武士が愛馬の手綱を取り石段を上り、家光公所望の梅の枝を取って下りて来た。それが丸亀藩の家臣曲垣平九郎だった。「この太平の世に馬術の稽古を怠りなき事、まことにあっぱれ。日本一の馬術の名人である」と褒め称えられた。以来平九郎の名は全国にとどろき、出世をした故事にちなみ「出世の石段」と呼ばれるようになった。（愛宕神社案内板より抜粋）



さあ、ここから本日のランチ場所に向かいます。



虎ノ門ヒルズ森タワーに到着。え、エスカレーター？



二階テラスでのランチタイム。日陰で風が通り気持ちの良い場所です。でも他のメンバーはどこに行った？



庭園には不思議なオブジェが。これ男か？



カフェにはテラス席も。結構満席でした。



ヒルズの下は都道環状2号線トンネル。



赤坂の歩道は暑いフライパン状態です！



日枝神社に到着。あれ、ここもエスカレーターが人気。



境内の砂利石は熱いので、日陰を求めてウロウロ。

★日枝神社：

鎌倉時代初期、秩父重継が初めて江戸貫主を名乗り、その館の内に山王社を勧請したことを起源とする。その後、文明年中（1478年～）太田道灌公が江戸城内に奉祀した。天正 18 年（1590 年）には徳川家康公が入府にあたり、この山王宮を城内「紅葉山」に祀り、江戸の町の繁栄の礎を築いた。（神社 HP より）



日陰のここは天国！ L・SL も真っ先に・・・



愛宕神社と比べれば、この階段は楽勝です！



国会議事堂周辺に到着。奥に新旧首相官邸が見えます。



今日は特別に警戒が厳しいようで各所に警察車両が。



正門は国会見学者が結構来ていました。



憲政記念館時計塔。



国会前庭の北庭で休憩中。





これは法務省の赤レンガ棟です。ツツジが見頃。



刑事ドラマではこちらも“桜田門”と呼ばれますね！



最後の日比谷公園に着きました。バテバテ？



園内のバラは見頃を迎えていました。



バラよりとにかく休みた〜い。藤棚の下はまさに天国です。ここにビールがあれば最高！



暑いので早く撮って～。はい、カメラもこの暑さでフラッシュの同調が良くなかったようで済みません。



■ここ日比谷公園で解散となり、有楽町駅まで歩きましたが、前文にも書いた通り、終日快晴で厳しい暑さの一日になりました。都内に土地勘がある人も、こうしてポイントを繋いで歩いてみると、また新鮮な感じがするのでは。知っているようで知らなかった場所や、新たなアングルから見た都内の風景もたまには良いものです。本日のリーダー栗田さんは、お疲れのせいか喉の調子が良くないようで、傍から見ていても声を出すのも大変そうでしたが、最後まで皆をまとめて無事ゴールを果たしました。SLのお二人を含め皆さん大変お疲れ様でした！

←公園出口で本日のまとめの栗田し。